




第4部



県民意識調査
結果の概要

令和2年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和2年1～2月（毎年調査）
- (6) 調査項目
 ア 生活全般の満足度
 イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関する57項目に係る重要度、満足度について
 ウ 幸福度について
- (7) 有効回収率 67.7%（3,387人（有効回答者数）/5,000人（調査対象者数））
- (8) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,494	(44.1)
女性	1,875	(55.4)
その他	8	(0.2)
不明	10	(0.3)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	43	(1.3)
20～29歳	160	(4.7)
30～39歳	273	(8.1)
40～49歳	432	(12.8)
50～59歳	598	(17.7)
60～69歳	805	(23.8)
70歳以上	1,028	(30.4)
不明	48	(1.4)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	966	(28.5)
県南広域振興圏	993	(29.3)
沿岸広域振興圏	837	(24.7)
県北広域振興圏	591	(17.4)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	291	(8.6)
家族従業者	136	(4.0)
会社役員・団体役員	198	(5.8)
常用雇用者	885	(26.1)
臨時雇用者	432	(12.8)
学生	56	(1.7)
専業主婦（主夫）	416	(12.3)
無職	751	(22.2)
その他	139	(4.1)
不明	83	(2.5)

() 内は%

(注) 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

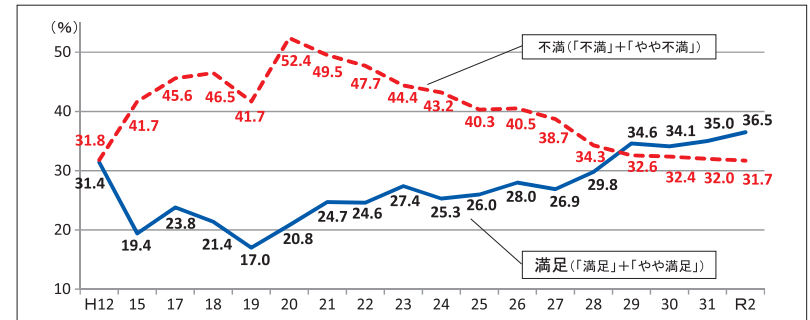
3 調査結果の概要

(1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

満足の割合が過去最高、不満は低下傾向

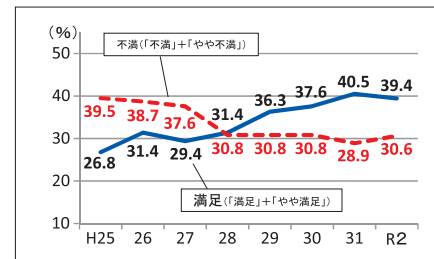
- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が36.5%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は31.7%となっている。
- また、平成31年調査と比較すると、満足の割合は35.0%から1.5ポイント上昇し、不満の割合は32.0%から0.3ポイント低下している。
- 広域振興圏別にみると、県南では満足が上昇し不満が低下している。県央、沿岸、県北では満足が低下し不満が上昇している。

(県計)

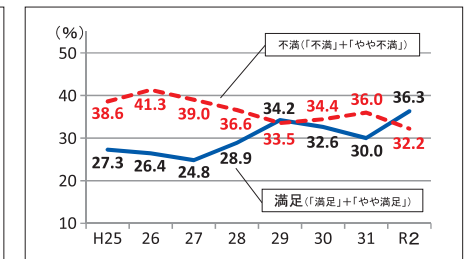


(注) 平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

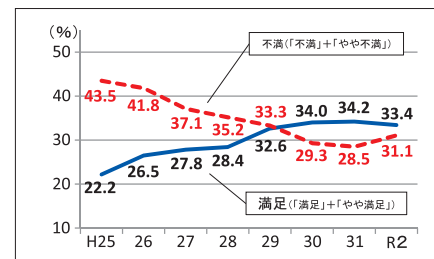
(県央広域振興圏)



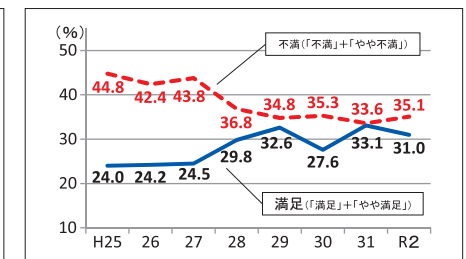
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



(2) あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

○重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「適切な医療体制」となっている。

○一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「ILCや新たな産業振興への取組」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
1	3	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	(5)	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	1	①	3	適切な医療体制
4	7	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土
5	12	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会

重要度が低い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
57	(46)	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	-	⑨	51	ILCや新たな産業振興への取組
55	-	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	(49)	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	-	③	19	特色ある私学教育の充実

※1 項目は設問文を要約して記載。

※2 H31年順位は、平成31年県民意識調査で調査した50項目中の順位。(カッコ数字は項目文が一部変更。「-」は新規項目。) (以下、同様)

【満足度】

○満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。

○一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
1	(1)	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	3	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	33	①	3	適切な医療体制
5	10	⑤	29	住民の協力による地域の防災体制づくり

満足度が低い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
57	49	⑥	36	商店街のにぎわい
56	50	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	(48)	⑥	35	安定した就職環境
54	40	④	24	公共交通機関の維持・確保
53	(46)	⑥	37	中小企業の成長・発展

【ニーズ度】

○ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」となっている。

○一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
1	(1)	⑥	35	安定した就職環境
2	4	⑥	42	農林水産業の担い手確保
3	6	⑥	36	商店街のにぎわい
4	8	④	24	公共交通機関の維持・確保
5	-	③	17	いじめや不登校への適切な対応

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) H31年順位	10の政策分野	番号	項目
57	(49)	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	-	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	(50)	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
54	(24)	①	1	身体の健康に関する相談・指導
53	-	⑨	51	ILCや新たな産業振興への取組

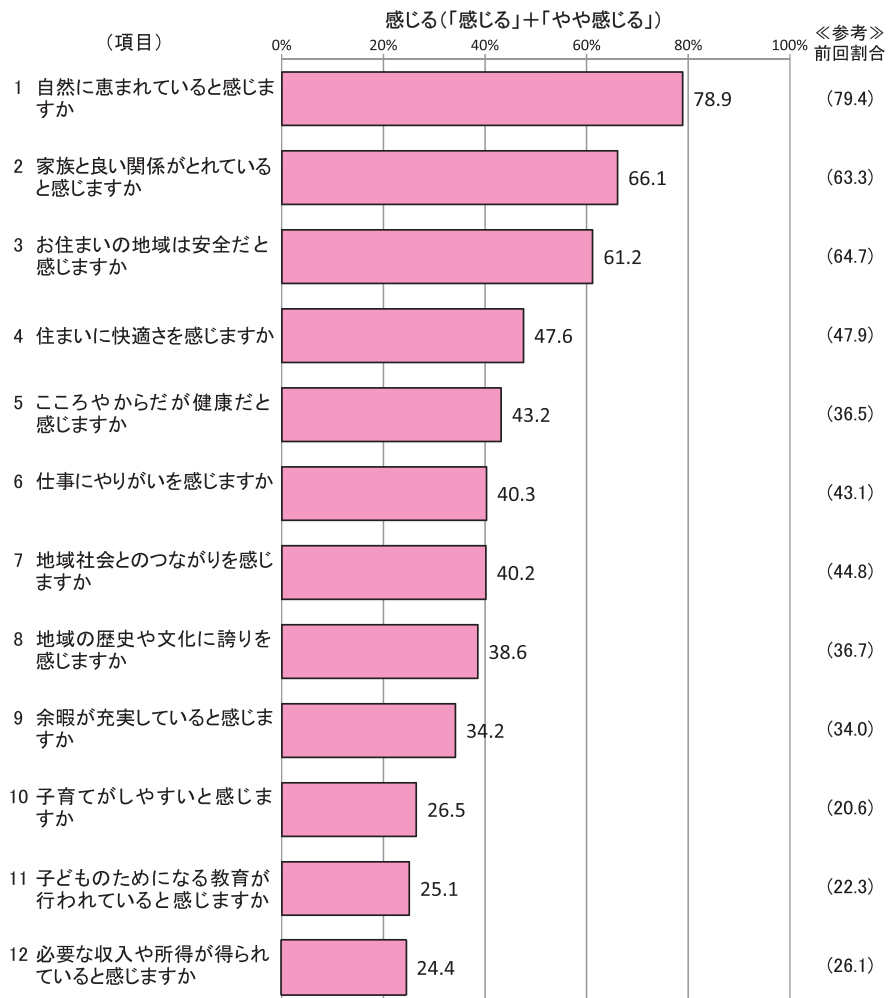
10の政策分野

- ①: 「健康・余暇」分野
- ②: 「家族・子育て」分野
- ③: 「教育」分野
- ④: 「居住環境・コミュニティ」分野
- ⑤: 「安全」分野
- ⑥: 「仕事・収入」分野
- ⑦: 「歴史・文化」分野
- ⑧: 「自然環境」分野
- ⑨: 「社会基盤」分野
- ⑩: 「参画」分野

(3) 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

(3) - 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の78.9%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の66.1%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の61.2%となっている。



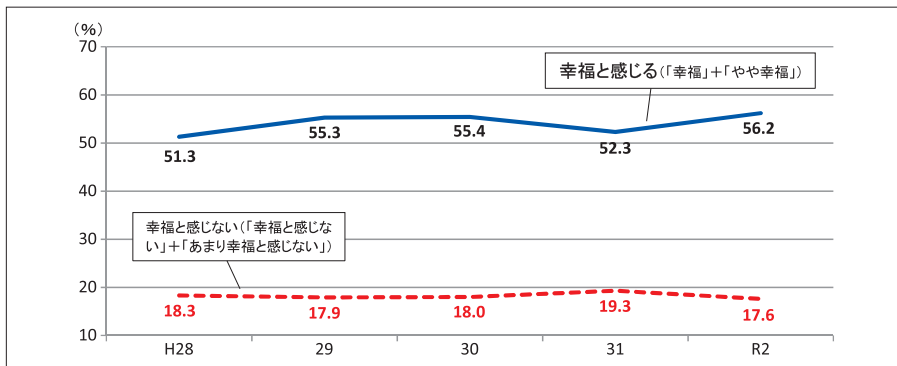
(3)－2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が約56%（56.2%）、全ての広域振興圏で50%以上

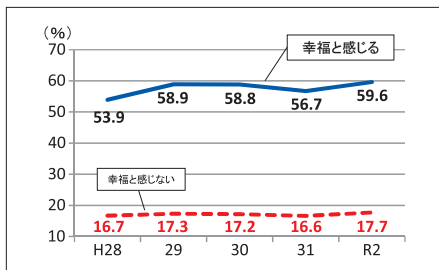
○県計では、幸福と感じる割合は56.2%となっており、前回と比較すると3.9ポイント上昇している。

○広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央では2.9ポイント、県南では6.0ポイント、沿岸では0.9ポイント、県北では4.3ポイント上昇している。

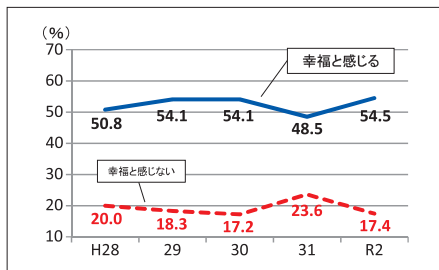
(県計)



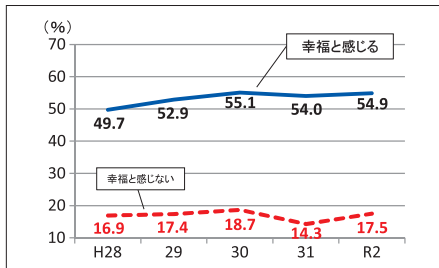
(県央広域振興圏)



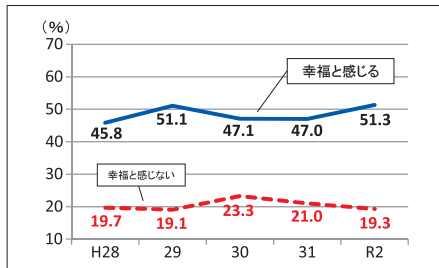
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



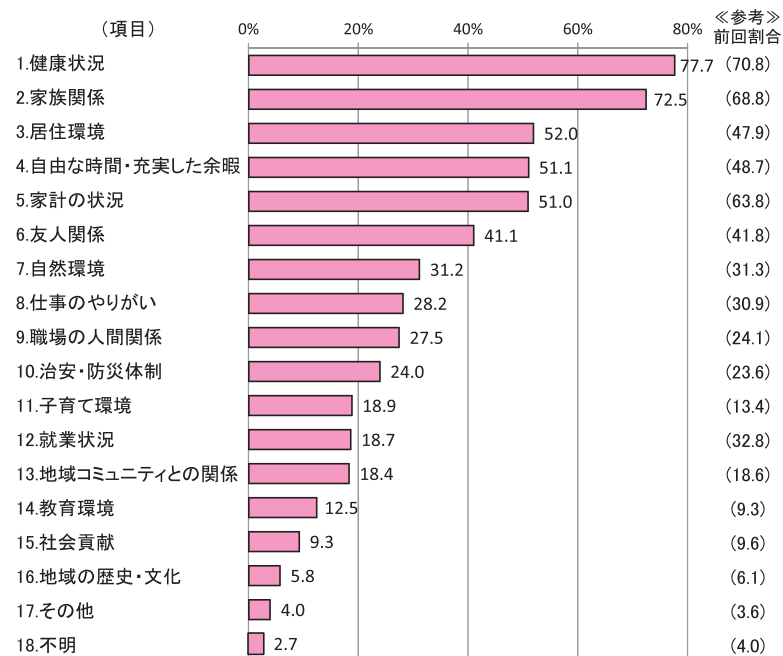
(県北広域振興圏)



注) 平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

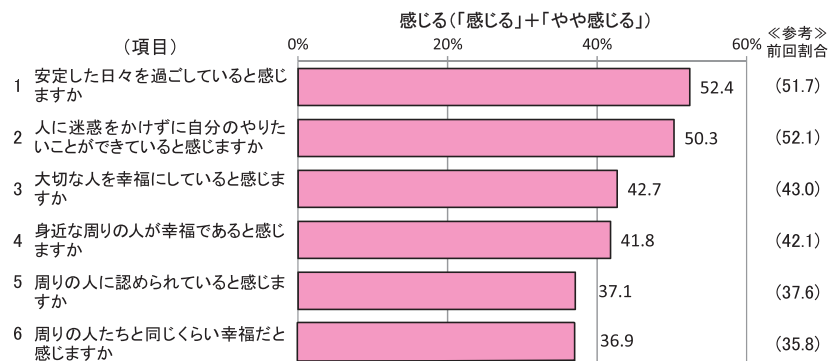
(3)－3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の77.7%、「家族関係」の72.5%となっている。



(3)－4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

○「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の52.4%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の50.3%となっている。



【参考1】 (2)の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

10の政策分野	No.	項目	前回からの変更等	重要度	満足度	ニーズ度
①健康・余暇	1	身体の健康に関する相談・指導	一部変更	3.771	3.190	0.582
	2	心の健康に関する相談・支援	一部変更	3.758	3.070	0.687
	3	適切な医療体制		4.651	3.248	1.404
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	一部変更	4.457	2.896	1.560
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	一部変更	3.326	3.007	0.319
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	新規	3.465	2.949	0.517
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境		3.896	2.860	1.036
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備		4.476	2.958	1.518
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	一部変更	4.360	3.116	1.244
	10	地域全体での青少年の健全育成		4.198	3.020	1.178
③教育	11	仕事と生活を両立できる環境		4.501	2.815	1.686
	12	ペットなど動物のいのちを大切にできる社会		4.065	3.141	0.924
	13	子どもの学力向上に向けた教育		4.404	3.008	1.396
	14	人間性豊かな子どもの育成		4.583	3.066	1.517
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持		4.423	3.158	1.265
	16	全ての子どもが学べる環境		4.459	2.987	1.473
	17	いじめや不登校への適切な対応	新規	4.619	2.723	1.895
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	新規	4.559	3.178	1.380
	19	特色ある私学教育の充実	新規	3.745	3.001	0.744
	20	次世代を担う人材育成	新規	4.312	2.886	1.426
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	一部変更	3.997	3.458	0.539
	22	大学の地域社会貢献		4.167	3.053	1.114
④居住環境・コミュニティ	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	一部変更	4.491	2.657	1.835
	24	公共交通機関の維持・確保		4.464	2.499	1.965
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	新規	4.030	2.940	1.090
	26	移住・定住を増やすための取組	一部変更	3.988	2.659	1.328
	27	外国人も暮らしやすい社会	一部変更	3.680	2.840	0.840
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり		3.787	2.982	0.805
⑤安全	29	地域の協力による防災体制づくり		4.464	3.230	1.235
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	一部変更	4.690	3.167	1.523
	31	交通事故の少ない社会づくり		4.722	3.088	1.634
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援		4.593	2.944	1.650
⑥仕事・収入	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境		4.564	3.331	1.233
	34	感染症に対する備えが整っている社会		4.632	3.028	1.604
	35	安定した就職環境	一部変更	4.542	2.405	2.137
	36	商店街のにぎわい		4.288	2.301	1.986
	37	中小企業の成長・発展	一部変更	4.269	2.510	1.760
	38	県内経済の活性化		4.342	2.536	1.807
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	一部変更	4.225	2.898	1.327
⑦歴史・文化	40	海外での県産品の販路拡大		3.875	2.803	1.072
	41	魅力ある観光地づくり		4.114	2.740	1.374
	42	農林水産業の担い手確保		4.339	2.308	2.031
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成		4.161	2.701	1.461
	44	農林水産物の販路拡大	一部変更	4.270	2.806	1.464
	45	活力ある農山漁村の形成	一部変更	4.157	2.698	1.459
⑧自然環境	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	一部変更	3.985	3.218	0.767
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	一部変更	4.073	3.176	0.897
	48	自然環境を大切に生活		4.586	3.204	1.382
⑨社会基盤	49	ごみ減量やリサイクルの定着		4.545	3.344	1.201
	50	温暖化防止の取組		4.523	2.774	1.748
	51	ITCや新たな産業振興への取組	新規	3.444	2.856	0.589
	52	情報通信技術の活用	一部変更	3.978	3.130	0.848
	53	災害に強く安心して暮らせる県土		4.639	2.921	1.718
⑩参画	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	一部変更	4.411	3.142	1.269
	55	社会資本の維持管理		4.417	2.932	1.485
	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	一部変更	4.306	2.757	1.548
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	一部変更	3.954	3.003	0.951
		平均		4.241	2.935	1.306

注1) 前回からの変更等は、前回調査から項目文を変更している項目は「一部変更」、今回調査からの新規項目は「新規」と記載しています。
注2) 重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標準平均を採用しています。

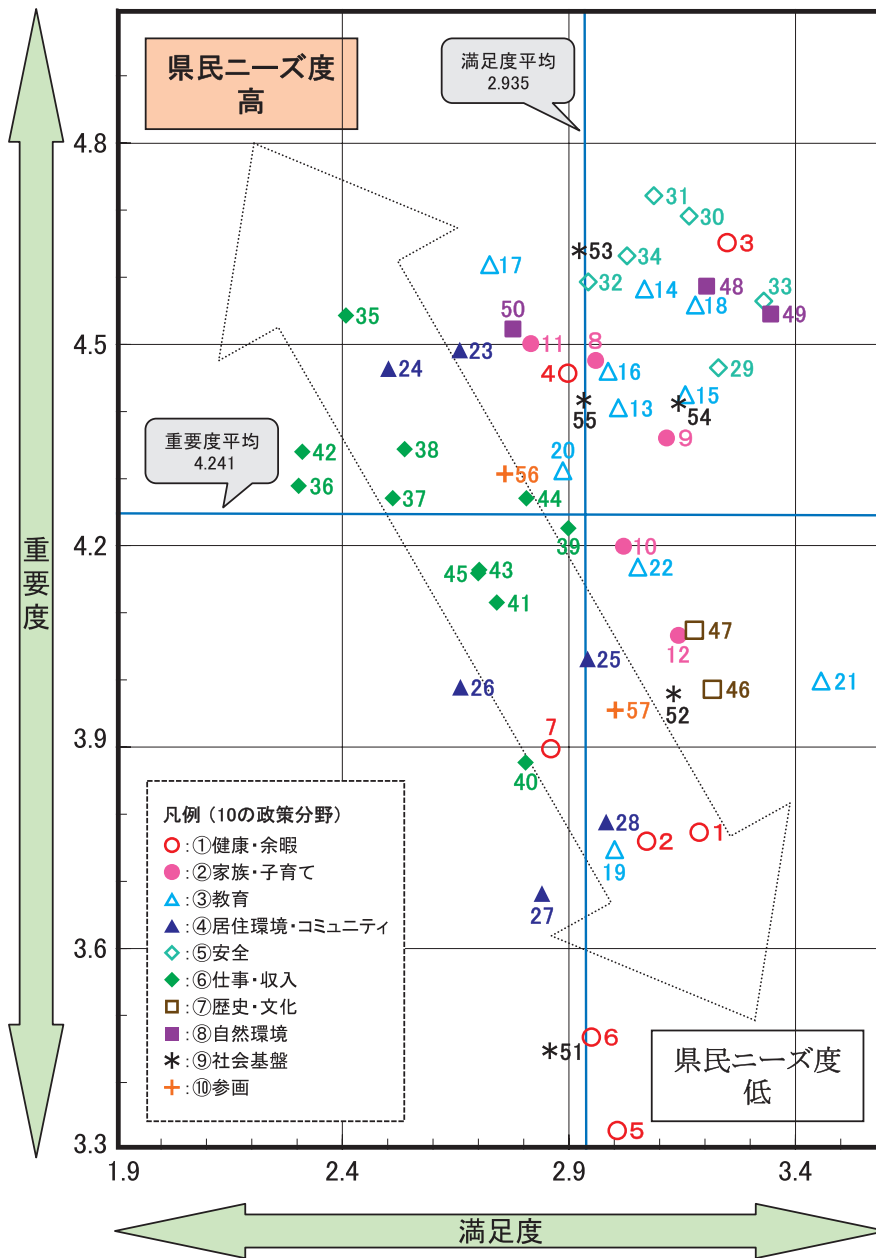
【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

ニーズ度：重要度（平均）-満足度（平均）
（重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）

【参考2】 (2)の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ーは各項目の平均値（重要度：4.241、満足度：2.935）

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。